

# 運用報告書（全体版）

## 世界高配当株セレクト（目標払出し型） 毎月決算・為替ヘッジなしコース

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式
信託期間	2012年12月17日から2027年11月25日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当世界株指数（以下「高配当株戦略指数」といいます。）から得られる総合収益の獲得、および毎月の分配実施（実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額を充当することができます。）による定期的な投資信託財産の一部払い出しを目的とします。
主要投資対象	世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジなしコース シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス 国内マネー・マザーファンド
運用方法	本邦通貨建ての公社債 以下の投資信託証券を通じて、高配当株戦略指数（配当込み、円ベース、円ヘッジなし）に実質的に投資を行います。 ケイマン諸島籍外国投資信託 シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス（以下「エクイティファンド（ヘッジなし）A」といいます。）円建受益証券 内国証券投資信託（親投資信託） 国内マネー・マザーファンド受益証券 なお、エクイティファンド（ヘッジなし）Aにおける高配当株戦略指数（配当込み、円ベース、円ヘッジなし）への実質的な投資は、ドイツ銀行ロンドン支店を取り扱う相手とする担保付スワップ取引により行います。
組入制限	世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジなしコース 投資信託証券および短期金融商品（短期運用の有価証券を含みます。）以外には投資を行いません。投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 国内マネー・マザーファンド 株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、原則として、当ファンドの決算日の直前ににおけるエクイティファンド（ヘッジなし）Aの分配額に基づく額を払い出すことを目標に委託者が決定します。エクイティファンド（ヘッジなし）Aの分配金は投資収益に基づくものではなく、原則として、1年毎に到来する特定日の純資産価格に所定の分配率を乗じて得た額としてその1口当たりの分配金が決定されます。結果として、当ファンドの分配金は実質的な投資元本の払い戻しにより一部または全部の額が充当されることがあります。留保益の運用については、特に制限を設げず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。

<運用報告書に関するお問い合わせ先>

コールセンター：0120-104-694

受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで

お客様のお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

第150期	<決算日	2025年6月25日>
第151期	<決算日	2025年7月25日>
第152期	<決算日	2025年8月25日>
第153期	<決算日	2025年9月25日>
第154期	<決算日	2025年10月27日>
第155期	<決算日	2025年11月25日>

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

さて、「世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジなしコース」は、2025年11月25日に第155期の決算を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

**アセットマネジメントOne 株式会社**

東京都千代田区丸の内1-8-2

<https://www.am-one.co.jp/>

# 世界高配当株セレクト（目標払出し型）毎月決算・為替ヘッジなしコース

## ■最近5作成期の運用実績

作成期	決算期 (分配落)	基準価額		高配当株戦略指數 (配当込み、円ベース、 円ヘッジなし) (参考指數)	投資信託 受益証券 組入比率	債券組入 比率	純資産 総額
		税込み 分配金	期中 騰落率				
第22作成期	126期 (2023年6月26日)	円 6,380	円 78	% 5.1	10,941.43	% 5.7	% 94.9
	127期 (2023年7月25日)	6,399	78	1.5	11,144.42	1.9	97.1
	128期 (2023年8月25日)	6,321	78	0.0	11,164.50	0.2	97.2
	129期 (2023年9月25日)	6,433	78	3.0	11,533.34	3.3	97.0
	130期 (2023年10月25日)	6,170	78	△2.9	11,208.75	△2.8	97.7
	131期 (2023年11月27日)	6,261	78	2.7	11,571.42	3.2	98.2
第23作成期	132期 (2023年12月25日)	6,114	78	△1.1	11,436.51	△1.2	97.6
	133期 (2024年1月25日)	6,213	75	2.8	11,800.76	3.2	97.4
	134期 (2024年2月26日)	6,357	75	3.5	12,347.25	4.6	98.0
	135期 (2024年3月25日)	6,630	75	5.5	12,984.28	5.2	98.0
	136期 (2024年4月25日)	6,641	75	1.3	13,185.26	1.5	98.4
	137期 (2024年5月27日)	6,724	75	2.4	13,536.59	2.7	98.1
第24作成期	138期 (2024年6月25日)	6,625	75	△0.4	13,510.76	△0.2	98.1
	139期 (2024年7月25日)	6,560	75	0.2	13,558.17	0.4	97.9
	140期 (2024年8月26日)	6,225	75	△4.0	13,031.02	△3.9	98.0
	141期 (2024年9月25日)	6,152	75	0.0	13,054.55	0.2	98.3
	142期 (2024年10月25日)	6,288	75	3.4	13,557.51	3.9	98.1
	143期 (2024年11月25日)	6,138	75	△1.2	13,414.03	△1.1	98.2
第25作成期	144期 (2024年12月25日)	5,948	75	△1.9	13,182.05	△1.7	97.9
	145期 (2025年1月27日)	6,027	72	2.5	13,558.80	2.9	98.2
	146期 (2025年2月25日)	5,906	72	△0.8	13,511.39	△0.3	97.8
	147期 (2025年3月25日)	5,902	72	1.2	13,667.01	1.2	97.9
	148期 (2025年4月25日)	5,298	72	△9.0	12,444.83	△8.9	97.9
	149期 (2025年5月26日)	5,390	72	3.1	12,868.67	3.4	98.3
第26作成期	150期 (2025年6月25日)	5,365	72	0.9	13,015.56	1.1	98.2
	151期 (2025年7月25日)	5,577	72	5.3	13,753.32	5.7	98.2
	152期 (2025年8月25日)	5,609	72	1.9	14,052.77	2.2	97.9
	153期 (2025年9月25日)	5,434	72	△1.8	13,866.90	△1.3	98.2
	154期 (2025年10月27日)	5,688	72	6.0	14,699.20	6.0	98.2
	155期 (2025年11月25日)	5,731	72	2.0	15,171.38	3.2	98.6

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

(注4) 高配当株戦略指数はクロッキー高配当世界株指数です（以下同じ）。

(注5) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

## ■過去6ヶ月間の基準価額と市況の推移

決算期	年月日	基 準 価 額		高配当株戦略指數		投受組 資益入	信証比	債券組入 比率
		騰 落 率	(配当込み、円ベース、 円ヘッジなし) (参考指數)	騰 落 率	(%)			
第150期	(期首) 2025年5月26日	円 5,390	% —	12,868.67	% —		% 98.3	% 0.2
	5月末	5,430	0.7	12,971.94	0.8		98.1	0.2
	(期末) 2025年6月25日	5,437	0.9	13,015.56	1.1		98.2	0.2
第151期	(期首) 2025年6月25日	5,365	—	13,015.56	—		98.2	0.2
	6月末	5,343	△0.4	12,962.84	△0.4		98.3	0.2
	(期末) 2025年7月25日	5,649	5.3	13,753.32	5.7		98.2	0.2
第152期	(期首) 2025年7月25日	5,577	—	13,753.32	—		98.2	0.2
	7月末	5,580	0.1	13,764.62	0.1		98.4	0.2
	(期末) 2025年8月25日	5,681	1.9	14,052.77	2.2		97.9	0.2
第153期	(期首) 2025年8月25日	5,609	—	14,052.77	—		97.9	0.2
	8月末	5,578	△0.6	13,976.42	△0.5		98.4	0.2
	(期末) 2025年9月25日	5,506	△1.8	13,866.90	△1.3		98.2	0.2
第154期	(期首) 2025年9月25日	5,434	—	13,866.90	—		98.2	0.2
	9月末	5,491	1.0	13,973.35	0.8		98.4	0.2
	(期末) 2025年10月27日	5,760	6.0	14,699.20	6.0		98.2	0.2
第155期	(期首) 2025年10月27日	5,688	—	14,699.20	—		98.2	0.2
	10月末	5,614	△1.3	14,511.32	△1.3		98.4	0.2
	(期末) 2025年11月25日	5,803	2.0	15,171.38	3.2		98.6	0.2

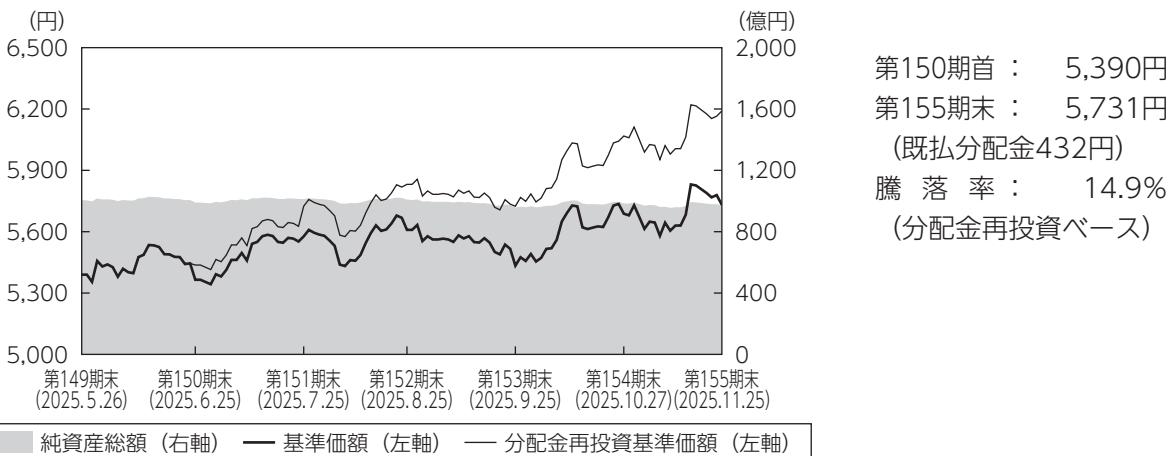
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドはマザーファンドを組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注3) 「投資信託受益証券組入比率」にはマザーファンドの比率を含みません。

## ■第150期～第155期の運用経過（2025年5月27日から2025年11月25日まで）

### 基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

当作成期間の基準価額（税引前分配金再投資ベース）は上昇しました。主として組み入れているケイマン諸島籍の外国投資信託「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス」（以下「エクイティファンド（ヘッジなし）A」といいます）の価格上昇が基準価額のプラス要因となりました。

## 投資環境

世界主要国の株式市場は、上昇しました。米国では、トランプ政権の相互関税の導入による景気減速やインフレ懸念等の不透明感はあったものの、貿易相手国との交渉進展によって徐々に不透明感が払しょくされるにつれて上昇しました。その後も、米労働市場の悪化から上値の重い場面が見られました。しかし、F R B（米連邦準備理事会）の利下げ観測やA I（人工知能）関連の設備投資拡大期待を背景に上昇基調を強めました。作成期末にかけては、バリュエーションへの懸念からやや値を下げる動きとなりました。一方、欧州では、米国との貿易交渉の難航やE C B（欧州中央銀行）の利下げ打ち止め観測、仏政局不安、英財政悪化懸念などから上値の重い展開となりました。日本では、日銀の金利据え置きや日米貿易交渉の早期合意、高市政権への経済対策期待などから作成期末にかけて上昇基調を維持しました。

為替市場では、円は対米ドル、対ユーロともに下落しました。米ドルは、作成期初にトランプ政権の政策不透明感が徐々に払しょくされる中で、米ドルの信認低下に伴う米ドル売りが後退し、対円で上昇しました。その後、米労働市場の軟化を示す経済指標からF R Bの利下げ期待が高まり、米ドルが下げる場面も見られたものの、日銀の利上げ期待の後退などからレンジ内で推移しました。10月に自民党総裁選で高市氏が選出されると財政拡大懸念から円が売られる展開となり、作成期末にかけて米ドル高円安が進みました。ユーロは対米ドルで上昇しました。作成期初に、米ドルの信認低下やE C Bの利下げ打ち止め観測からユーロ高米ドル安が進んだものの、その後は方向感のない展開となりました。対円では、E C Bの利下げ打ち止めや日銀の金利据え置き観測から作成期間を通じてユーロ高円安基調となりました。

国内短期金融市場では、3ヵ月国庫短期証券利回りは0.3%台から0.4%台のレンジ内で上下する動きとなりました。

## ポートフォリオについて

### ●当ファンド

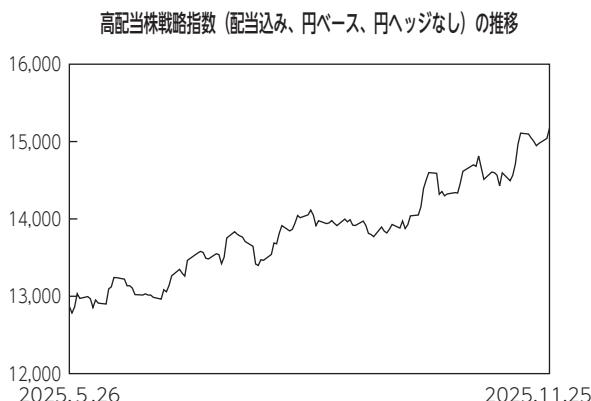
当作成期間を通じて「エクイティファンド（ヘッジなし）A」を高位に組み入れるとともに、国内投資信託「国内マネー・マザーファンド」へも投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行いました。

### ●エクイティファンド（ヘッジなし）A

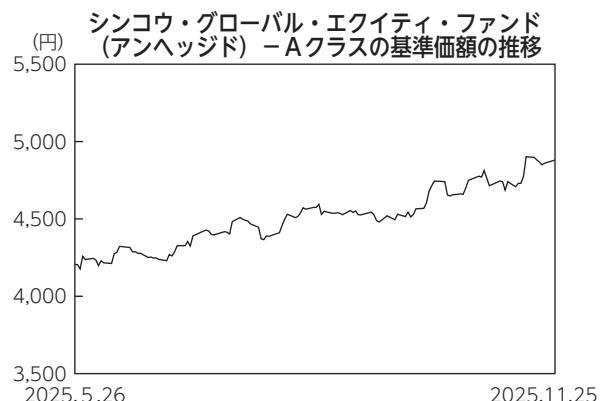
主として、ドイツ銀行ロンドン支店を相手先とする担保付スワップ取引の投資を通じて、日本を含む世界の高配当株投資戦略の運用成果を反映するクロッキー高配当株指数のひとつである「高配当株戦略指数（配当込み、円ベース、円ヘッジなし）」に実質的に投資を行い、指数への投資で得られる総合収益の獲得を目指しました。

### ●国内マネー・マザーファンド

残存期間の短い国債などで運用を行いました。



※高配当株戦略指数は、クロッキー高配当世界株指数です。

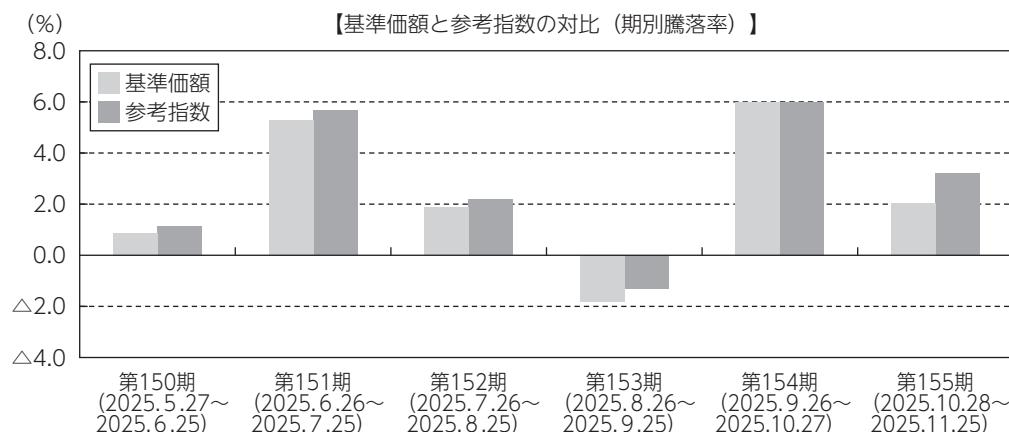


※基準価額は、当作成期間における分配金を再投資したものとみなして計算しています。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

## 分配金

収益分配金は、年1回の目標額決定時の基準価額に対して所定の率を乗じて得た額を上限として支払います。第150期から第155期はそれぞれ1万口当たり72円を分配しました。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

## ■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期
	2025年5月27日 ～2025年6月25日	2025年6月26日 ～2025年7月25日	2025年7月26日 ～2025年8月25日	2025年8月26日 ～2025年9月25日	2025年9月26日 ～2025年10月27日	2025年10月28日 ～2025年11月25日
当期分配金（税引前）	72円	72円	72円	72円	72円	72円
対基準価額比率	1.32%	1.27%	1.27%	1.31%	1.25%	1.24%
当期の収益	72円	72円	72円	72円	72円	72円
当期の収益以外	-円	-円	-円	-円	-円	-円
翌期繰越分配対象額	5,162円	5,176円	5,186円	5,196円	5,210円	5,222円

(注1) 「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

(注2) 当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの收益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

(注3) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き「エクイティファンド（ヘッジなし）A」を高位に維持し、収益の獲得を目指します。

### ●エクイティファンド（ヘッジなし）A

引き続き担保付スワップ取引への投資を通じて、「高配当株戦略指数（配当込み、円ベース、円ヘッジなし）」から得られる総合収益の獲得を目指します。

### ●国内マネー・マザーファンド

日銀は2025年10月の金融政策決定会合で、政策金利を0.50%とする金融政策を維持しました。日銀は引き続き政策金利の引き上げを行うと見られますが、欧米のような大幅な利上げは見込まれず、今後の金利上昇は限定的なものとなることが見込まれます。そのため、今後も公社債などへの投資を通じて、安定的な運用を目指します。

## ■ 1万口当たりの費用明細

項目	第150期～第155期 (2025年5月27日 ～2025年11月25日)		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	36円	0.649%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は5,560円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、 口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(11)	(0.192)	
(販売会社)	(24)	(0.440)	
(受託会社)	( 1)	(0.016)	
(b) その他費用 (監査費用)	0 ( 0)	0.001 (0.001)	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
合計	36	0.650	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

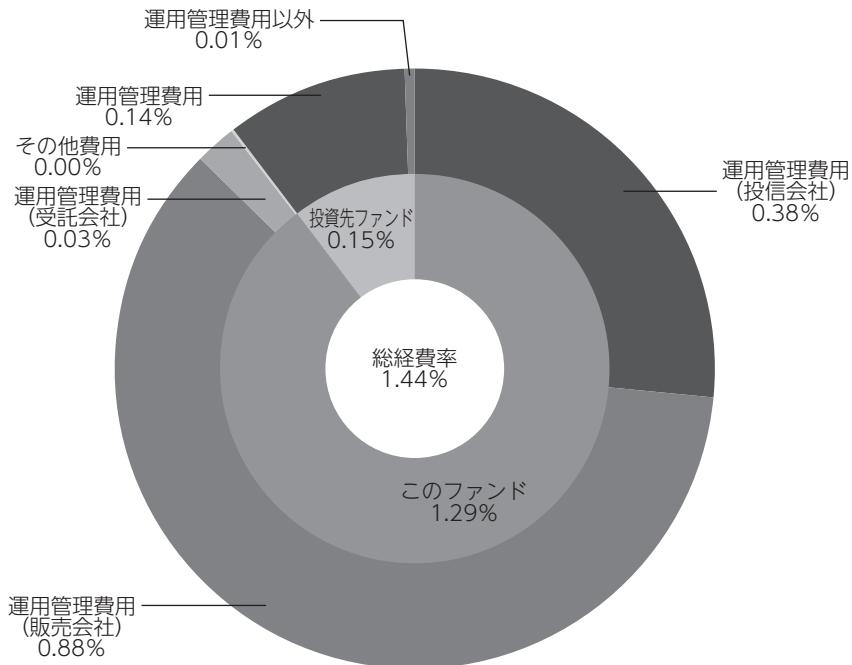
(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

## (参考情報)

### ◆総経費率

当社成期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.44%です。



総経費率 (①+②+③)	1.44%
①このファンドの費用の比率	1.29%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.14%
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.01%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。なお、投資先ファンドで行われるスワップ取引における指手数料は、総経費率の計算に含まれておりません。当該指手数料は、スワップ取引の日々の評価額から差し引かれ、基準価額に反映されています。上記の総経費率に関しては、投資先ファンドも含め入手し得る情報において作成、計算されたものです。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■売買及び取引の状況（2025年5月27日から2025年11月25日まで）

### 投資信託受益証券

	第150期～第155期				
	買付		売付		
	□数	金額	□数	金額	
外国 邦 貨 建	千口 —	千円 —	千口 18,886,269.788	千円 8,120,000	

(注) 金額は受渡代金です。

## ■親投資信託受益証券の設定、解約状況（2025年5月27日から2025年11月25日まで）

期中の親投資信託受益証券の設定、解約はありません。

## ■利害関係人との取引状況等（2025年5月27日から2025年11月25日まで）

期中の利害関係人との取引等はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■組入資産の明細

### (1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	第25作成期末	第26作成期末		
	□数	□数	評価額	比率
シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス	千口 235,142,716.156	千口 216,256,446.368	千円 95,758,354	% 98.6
合計	235,142,716.156	216,256,446.368	95,758,354	98.6

(注) 比率欄は純資産総額に対する比率です。

### (2) 親投資信託残高

	第25作成期末	第26作成期末	
	□数	□数	評価額
国内マネー・マザーファンド	千口 272,756	千口 272,756	千円 275,892

## ■投資信託財産の構成

2025年11月25日現在

項 目	第26作成期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円	%
国内マネー・マザーファンド	95,758,354	97.0
コール・ローン等、その他	275,892	0.3
投資信託財産総額	2,722,367	2.8
	98,756,614	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年6月25日)、(2025年7月25日)、(2025年8月25日)、(2025年9月25日)、(2025年10月27日)、(2025年11月25日)現在

項目	第150期末	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末
(A) 資産	100,748,251,278円	103,427,014,264円	102,588,442,866円	97,473,902,836円	100,191,706,275円	98,756,614,982円
コール・ローン等	2,722,513,148	3,033,861,064	2,958,023,372	2,680,021,471	2,737,798,166	2,722,367,826
投資信託受益証券(評価額)	97,210,363,662	99,457,669,629	98,834,854,097	94,018,206,865	96,668,124,507	95,758,354,451
国内マネー・マザーファンド(評価額)	275,374,468	275,483,571	275,565,397	275,674,500	275,783,602	275,892,705
未収入金	540,000,000	660,000,000	520,000,000	500,000,000	510,000,000	—
(B) 負債	1,736,677,855	2,144,962,323	1,653,824,729	1,723,936,175	1,727,496,974	1,625,313,835
未払収益分配金	1,328,658,025	1,307,532,327	1,295,639,312	1,268,746,853	1,246,479,321	1,220,371,325
未払解約金	299,874,211	729,844,867	247,111,284	345,981,513	369,227,548	304,135,124
未払信託報酬	107,950,610	107,390,965	110,873,639	109,010,127	111,587,464	100,624,500
その他未払費用	195,009	194,164	200,494	197,682	202,641	182,886
(C) 純資産総額(A-B)	99,011,573,423	101,282,051,941	100,934,618,137	95,749,966,661	98,464,209,301	97,131,301,147
元本	184,535,836,865	181,601,712,101	179,949,904,537	176,214,840,809	173,122,128,037	169,496,017,489
次期繰越損益金	△85,524,263,442	△80,319,660,160	△79,015,286,400	△80,464,874,148	△74,657,918,736	△72,364,716,342
(D) 受益権総口数	184,535,836,865□	181,601,712,101□	179,949,904,537□	176,214,840,809□	173,122,128,037□	169,496,017,489□
1万口当たり基準価額(C/D)	5,365円	5,577円	5,609円	5,434円	5,688円	5,731円

(注) 第149期末における元本額は186,667,178,995円、当造成期間(第150期～第155期)中における追加設定元本額は3,651,475,498円、同解約元本額は20,822,637,004円です。

## ■損益の状況

[自 2025年5月27日] [自 2025年6月26日] [自 2025年7月26日] [自 2025年8月26日] [自 2025年9月26日] [自 2025年10月28日]  
 [至 2025年6月25日] [至 2025年7月25日] [至 2025年8月25日] [至 2025年9月25日] [至 2025年10月27日] [至 2025年11月25日]

項目	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期
(A) 配当等収益	1,608,744,296円	1,581,936,775円	1,570,951,021円	1,544,607,358円	1,523,015,462円	1,490,110,164円
受取配当金	1,608,088,649	1,581,225,824	1,570,205,406	1,543,924,238	1,522,300,199	1,489,455,437
受取利息	655,647	710,951	745,615	683,120	715,263	654,727
(B) 有価証券売買損益	△635,591,314	3,666,642,751	408,013,225	△3,253,621,690	4,224,607,283	559,944,890
売買益	5,499,321	3,707,547,972	415,257,480	30,013,558	4,270,026,744	583,883,129
売買損	△641,090,635	△40,905,221	△7,244,255	△3,283,635,248	△45,419,461	△23,938,239
(C) 信託報酬等	△108,145,619	△107,585,129	△111,074,133	△109,207,809	△111,790,105	△100,807,386
(D) 当期損益金(A+B+C)	865,007,363	5,140,994,397	1,867,890,113	1,818,222,141	5,635,832,640	1,949,247,668
(E) 前期繰越損益金	△21,574,067,953	△21,531,018,814	△17,481,446,173	△16,515,135,489	△19,205,934,829	△14,490,034,843
(F) 追加信託差損益金	△63,486,544,827	△62,622,103,416	△62,106,091,028	△60,862,769,665	△59,841,337,226	△58,603,557,842
(配当等相当額)	(89,551,503,869)	(88,170,448,105)	(87,387,538,306)	(85,589,627,868)	(84,103,884,392)	(82,349,475,615)
(売買損益相当額)	(△153,038,048,696)	(△150,792,551,521)	(△149,493,629,334)	(△146,452,397,533)	(△143,945,221,618)	(△140,953,033,457)
(G) 合計(D+E+F)	△84,195,605,417	△79,012,127,833	△77,719,647,088	△79,196,127,295	△73,411,439,415	△71,144,345,017
(H) 収益分配金	△1,328,658,025	△1,307,532,327	△1,295,639,312	△1,268,746,853	△1,246,479,321	△1,220,371,325
次期繰越損益金(G+H)	△85,524,263,442	△80,319,660,160	△79,015,286,400	△80,464,874,148	△74,657,918,736	△72,364,716,342
追加信託差損益金	△63,486,544,827	△62,622,103,416	△62,106,091,028	△60,862,769,665	△59,841,337,226	△58,603,557,842
(配当等相当額)	(89,551,503,935)	(88,170,448,280)	(87,387,538,391)	(85,589,627,968)	(84,103,884,492)	(82,349,475,652)
(売買損益相当額)	(△153,038,048,762)	(△150,792,551,696)	(△149,493,629,419)	(△146,452,397,633)	(△143,945,221,718)	(△140,953,033,494)
分配準備積立金	5,720,154,196	5,830,682,146	5,946,686,846	5,974,846,025	6,101,109,635	6,163,207,620
繰越損益金	△27,757,872,811	△23,528,238,890	△22,855,882,218	△25,576,950,508	△20,917,691,145	△19,924,366,120

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 分配金の計算過程

項目	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期
(a) 経費控除後の配当等収益	1,500,665,728円	1,549,580,286円	1,482,844,353円	1,435,490,432円	1,493,497,956円	1,416,933,322円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	89,551,503,935	88,170,448,280	87,387,538,391	85,589,627,968	84,103,884,492	82,349,475,652
(d) 分配準備積立金	5,548,146,493	5,588,634,187	5,759,481,805	5,808,102,446	5,854,091,000	5,966,645,623
(e) 当期分配対象額(a+b+c+d)	96,600,316,156	95,308,662,753	94,629,864,549	92,833,220,846	91,451,473,448	89,733,054,597
(f) 1万口当たり当期分配対象額	5,234.77	5,248.22	5,258.68	5,268.18	5,282.48	5,294.11
(g) 分配金	1,328,658,025	1,307,532,327	1,295,639,312	1,268,746,853	1,246,479,321	1,220,371,325
(h) 1万口当たり分配金	72	72	72	72	72	72

## ■分配金のお知らせ

決算期	第150期	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期
1万口当たり分配金	72円	72円	72円	72円	72円	72円

※分配金を再投資する場合、分配金は税引後自動的に無手数料で再投資されます。

### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・追加型株式投資信託の分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- 分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、分配金から元本払戻金（特別分配金）を控除した額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における受益者毎の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の受益者毎の個別元本となります。

# シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド (アンヘッジド) - A クラス

当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍外国投資信託／円建受益証券
運 用 方 針	主としてスワップ取引を通じて、「クロッキー高配当世界株指数（配当込み、円建て、円ヘッジなし）」のリターン（コスト控除後）を享受することを目指します。スワップ取引の相手方はドイツ銀行ロンドン支店となります。
主 な 投 資 制 限	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、上述のスワップ取引を行う以外にはリスク資産への投資は行いません。</li> <li>・有価証券の空売りは行いません。</li> <li>・純資産総額の10%を超える借り入れは行いません。</li> <li>・流動性に欠ける資産への投資は、純資産総額の15%以内とします。</li> </ul>
決 算 日	12月末
関 係 法 人	投資顧問会社：アセットマネジメントOne株式会社 受託会社：CIBC カリビアン・バンク・アンド・トラスト・カンパニー（ケイマン）リミテッド 管理事務代行会社：ステート・ストリート・バンク・インターナショナルGmbH、ルクセンブルク支店 保管受託銀行：ミズホ・バンク（U.S.A）
信 託 報 酬 等	純資産総額に対し年率0.145% 上記料率には、投資顧問会社、受託会社、管理事務代行会社ならびに保管受託銀行への報酬が含まれます。ただし、これらの報酬の中には取引頻度に応じた額や最低支払額が設定されているものがあるため、取引頻度や資産規模などにより上記料率を上回る場合があります。なお、最低支払額として、受託会社に対し年15,000米ドル、管理事務代行会社に対し年45,000米ドルが設定されています。
そ の 他 の 費 用 ・ 手 数 料	監査報酬、弁護士費用および当初設定にかかる諸費用などが支払われます。これらは定率でないため事前に概算料率や上限額などを表示することができません。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）－Aクラス」は、「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」を構成する個別クラスとなっております。

「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」は、同ファンドの国籍において一般に公正妥当と認められる会計原則に準拠した財務諸表が作成され、現地監査人による監査を受けております。

なお、以下は入手しうる直近の現地監査済み財務諸表の原文の一部を委託会社が和訳したものであります、あくまで参考和訳であり正確性を保証するものではありません。

### 「シンコウ・グローバル・エクイティ・ファンド（アンヘッジド）」の状況

#### (1) 財政状態計算書

2023年12月31日現在

(日本円表示)

#### 資産

##### 損益を通じて公正価値で測定する金融資産

(取得原価：101,538,116,580円) 113,938,027,367

##### 現金

116,843,545,878

##### 資産合計

230,781,573,245

#### 負債

##### 契約先への預り金

114,919,400,000

##### 未払管理事務代行報酬

20,660,546

##### 未払保管受託報酬

4,427,259

##### 未払管理報酬

14,757,530

##### 未払専門家報酬

3,806,460

##### 未払受託者報酬

3,094,956

##### その他の負債

1,097,644

##### 負債合計（受益者に帰属する純資産を除く）

114,967,244,395

#### 受益者に帰属する純資産

115,814,328,850

#### 1口当たりの純資産価額

##### Aクラス 投資信託受益証券

0.4887

(発行済投資信託受益証券口数 237,006,062,691口)

(2) 包括利益計算書

2023年12月31日に終了した会計年度

(日本円表示)

投資収益

実効金利法を用いて算出された受取利息	29,123,402
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる実現純利益	584,050,500
外貨取引にかかる実現純利益／（損失）	(147,372)
損益を通じて公正価値で測定する金融資産にかかる未実現利益／（損失）の変動純額	12,713,020,581
外貨取引にかかる未実現利益／（損失）の変動純額	(43,318)
<b>投資収益合計</b>	<b>13,326,003,793</b>

費用

管理事務代行報酬	58,979,302
保管受託報酬	12,854,507
管理報酬	42,249,144
受託者報酬	8,850,575
専門家報酬	3,911,310
その他報酬	2,577,606
<b>費用合計</b>	<b>129,422,444</b>

純投資利益

13,196,581,349

財務費用

受益者への分配金	(15,217,448,071)
受益者に帰属する純資産の減少額	(2,020,866,722)

(3) 次の表は、金融資産の集中を表示しており、2023年12月31日現在で当ファンドが保有する金融資産の公正価値および想定元本を示している。

(単位：日本円)

	公正価値	想定元本
金融資産：		
金融商品（スワップ取引）への投資	113,938,027,367	28,720,000,000
会計年度末	113,938,027,367	28,720,000,000

# 国内マネー・マザーファンド

## 運用報告書

第17期（決算日 2025年1月15日）  
(計算期間 2024年1月16日～2025年1月15日)

国内マネー・マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	原則、無期限です。
運用方針	主として本邦通貨建ての短期公社債に投資することにより、安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	本邦通貨建ての公社債を主要投資対象とします。
主な組入制限	株式への投資は行いません。外貨建資産への投資は行いません。

### ■最近3期の運用実績

決算期	基準価額			債券組入比率	債券先物比率	純資産額
		期騰	中落率			
15期(2023年1月16日)	円 10,083	% △0.1		64.6	—	百万円 387
16期(2024年1月15日)	10,076	△0.1		61.4	—	602
17期(2025年1月15日)	10,083	0.1		80.7	—	597

(注1) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

(注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を定めておりません。

(注3) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

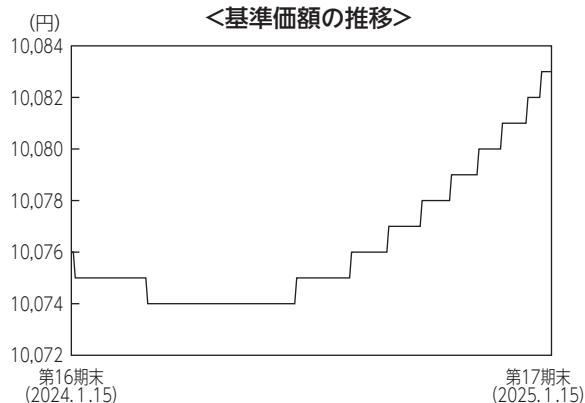
■当期中の基準価額の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	債券比率		債先物比率	
			債組	入 比	券 率	債 先
(期 首) 2024年 1月15日	円 10,076	% —		% 61.4		% —
1 月 末	10,075	△0.0		61.4		—
2 月 末	10,075	△0.0		61.4		—
3 月 末	10,074	△0.0		61.4		—
4 月 末	10,074	△0.0		61.4		—
5 月 末	10,074	△0.0		64.7		—
6 月 末	10,074	△0.0		64.7		—
7 月 末	10,075	△0.0		64.7		—
8 月 末	10,076	0.0		64.7		—
9 月 末	10,077	0.0		65.2		—
10 月 末	10,079	0.0		71.9		—
11 月 末	10,080	0.0		80.7		—
12 月 末	10,082	0.1		80.7		—
(期 末) 2025年 1月15日	10,083	0.1		80.7		—

(注1) 謄落率は期首比です。

(注2) 債券先物比率は、買建比率－売建比率です。

## ■当期の運用経過（2024年1月16日から2025年1月15日まで）



### 基準価額の推移

当ファンドの基準価額は1万口あたり10,083円となり、前期末の同10,076円から0.07%上昇しました。

### 基準価額の主な変動要因

保有債券からの利息収入などがプラスに影響し、前期末比で基準価額は上昇しました。

## 投資環境

国内短期金融市场では、3ヶ月国庫短期証券利回りは日銀がマイナス金利政策を含む大規模な金融緩和政策を継続した影響によりマイナス圏で推移しましたが、2024年3月に日銀がマイナス金利政策を解除し、さらに7月に政策金利を0.25%に引き上げたことから同利回りはプラス圏に上昇しました。

## ポートフォリオについて

残存期間の短い国債などで運用を行いました。

## 今後の運用方針

日銀は2024年12月の金融政策決定会合で、政策金利を0.25%とする金融政策を維持しました。日銀は今後政策金利の引き上げを行うと見られますが、そのペースは緩やかなものになると想定され、金利は引き続き安定的に推移することが見込まれます。そのため、今後も安定的な運用を目指し、公社債などへの投資につとめます。

## ■1万口当たりの費用明細

計算期間中に発生した費用はありません。

## ■売買及び取引の状況 (2024年1月16日から2025年1月15日まで)

公社債

		買付額	売付額
国	内	千円	千円
国債証券		482,060	(370,000)

(注1) 金額は受渡代金です（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■利害関係人との取引状況等 (2024年1月16日から2025年1月15日まで)

期中の利害関係人との取引状況

決算期	当期						
	区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	B/A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
公社債	区分	百万円 482	百万円 152	% 31.6	百万円 -	百万円 -	% -

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当期における当ファンドにかかる利害関係人とは、みずほ証券です。

## ■組入資産の明細

公社債

### (A) 債券種類別開示

国内 (邦貨建) 公社債

区分	当期						組入比率	
	額面金額	評価額	組入比率	うちB格以下組入比率	残存期間別	5年以上	2年以上	2年末満
国債証券	千円 483,000	千円 482,418	% 80.7	% —	% —	% —	% —	% 80.7
合計	483,000	482,418	80.7	—	—	—	—	80.7

(注) 組入比率は、期末の純資産総額に対する評価額の比率であり、小数点第2位を四捨五入しています。

### (B) 個別銘柄開示

国内 (邦貨建) 公社債銘柄別

銘柄	当期				末償還年月日
	利率	額面金額	評価額	千円	
(国債証券) 446回 利付国庫債券(2年)	% 0.0050	千円 50,000	千円 49,997	千円 49,997	2025/03/01
1226回 国庫短期証券	—	80,000	79,972	79,972	2025/04/21
1231回 国庫短期証券	—	60,000	59,958	59,958	2025/05/20
449回 利付国庫債券(2年)	0.0050	80,000	79,951	79,951	2025/06/01
452回 利付国庫債券(2年)	0.0050	100,000	99,871	99,871	2025/09/01
453回 利付国庫債券(2年)	0.0050	60,000	59,876	59,876	2025/10/01
1270回 国庫短期証券	—	53,000	52,790	52,790	2025/11/20
合計	—	483,000	482,418	482,418	—

## ■投資信託財産の構成

2025年1月15日現在

項 目	当期末	
	評価額	比率
公 社 債	千円 482,418	% 80.7
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	115,497	19.3
投 資 信 託 財 産 総 額	597,915	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨ててあります。%は、小数点第2位を四捨五入しています。

## ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2025年1月15日)現在

項 目	当期末
(A) 資 産	597,915,859円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	115,493,475
国 債 証 券(評価額)	482,418,474
未 収 利 息	3,199
前 払 費 用	711
(B) 負 債	—
(C) 純 資 産 総 額(A-B)	597,915,859
元 本	592,995,208
次 期 繰 越 損 益 金	4,920,651
(D) 受 益 権 総 口 数	592,995,208口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,083円

(注1) 期首元本額 597,957,003円

追加設定元本額 0円

一部解約元本額 4,961,795円

(注2) 期末における元本の内訳

世界高配当株セレクト(目標払出し型)毎月決算・為替ヘッジなしコース 272,756,011円

世界高配当株セレクト(目標払出し型)毎月決算・為替ヘッジありコース 21,814,391円

グローバル・アロケーション・オープン Aコース(年1回決算・為替ヘッジなし) 39,526,080円

グローバル・アロケーション・オープン Bコース(年4回決算・為替ヘッジなし) 188,580,850円

グローバル・アロケーション・オープン Cコース(年1回決算・既定為替ヘッジ) 2,962,052円

グローバル・アロケーション・オープン Dコース(年4回決算・既定為替ヘッジ) 2,960,390円

豪州インフラ関連好配当資産ファンド(毎月決算型) 44,446,526円

豪州インフラ関連好配当資産ファンド(年2回決算型) 19,753,462円

豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり(毎月決算型) 97,723円

豪州インフラ関連好配当資産ファンド為替ヘッジあり(年2回決算型) 97,723円

期末元本合計 592,995,208円

## ■損益の状況

当期 自2024年1月16日 至2025年1月15日

項 目	当期
(A) 受 取 利 息 等 収 益	425,994円
受 取 利 息	428,794
支 払 利 息	△2,800
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	16,540
売 買 益	178,124
売 買 損	△161,584
(C) 当 期 損 益 金(A+B)	442,534
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	4,516,322
(E) 解 約 差 損 益 金	△38,205
(F) 合 計(C+D+E)	4,920,651
次 期 繰 越 損 益 金(F)	4,920,651

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。